



**株式会社サンゲツ**

**2024年3月期 決算補足説明資料**

2024年5月10日  
株式会社サンゲツ  
証券コード：8130  
(東証プライム・名証プレミア)

# 2024年3月期 決算のポイント

---

## 【連結業績】

売上高・当期純利益：過去最高を更新。

## 【国内インテリアセグメント】

- ・ 壁装材・床材等の主要商品は、通期（4-3月）を通じて着実にシェアアップ。
- ・ 中期経営計画で注力している中型商品※も通期（4-3月）を通じて引き続き好調。
- ・ 第4四半期期間中（1-3月）の販売価格はほぼ横ばい。仕入価格は物流コスト、および一部原材料の値上げが影響し、単位あたり総利益は減少。
- ・ 年度末に市場が減速したことで当社も数量減。

※リアテック（粘着剤付化粧フィルム）、ガラスフィルム、カーペットタイル、フロアタイル、椅子生地

## 【国内エクステリアセグメント】

- ・ 通期の売上高は前期を上回るも、特に市場の減速で第4四半期は苦戦。
- ・ 専門人材拡充のための人的強化、事業エリア拡大のための新規出店コスト増。

# 2024年3月期 決算のポイント

---

## 【海外セグメント】

- ・ 北米では1Q以降業績は好調、通期で黒字を達成。
- ・ 東南アジアはシンガポールでの機能強化策によるコスト増により赤字が継続。
- ・ 中国・香港は市場低迷により厳しい状況が継続しており赤字が継続。
- ・ 今期よりサンゲツ単体の海外ビジネスユニット損益を海外セグメントに算入したことにより、海外セグメント損益全体では赤字が継続、但し海外グループ会社の合算では通期は黒字化、前期より大幅改善。

## 【その他】

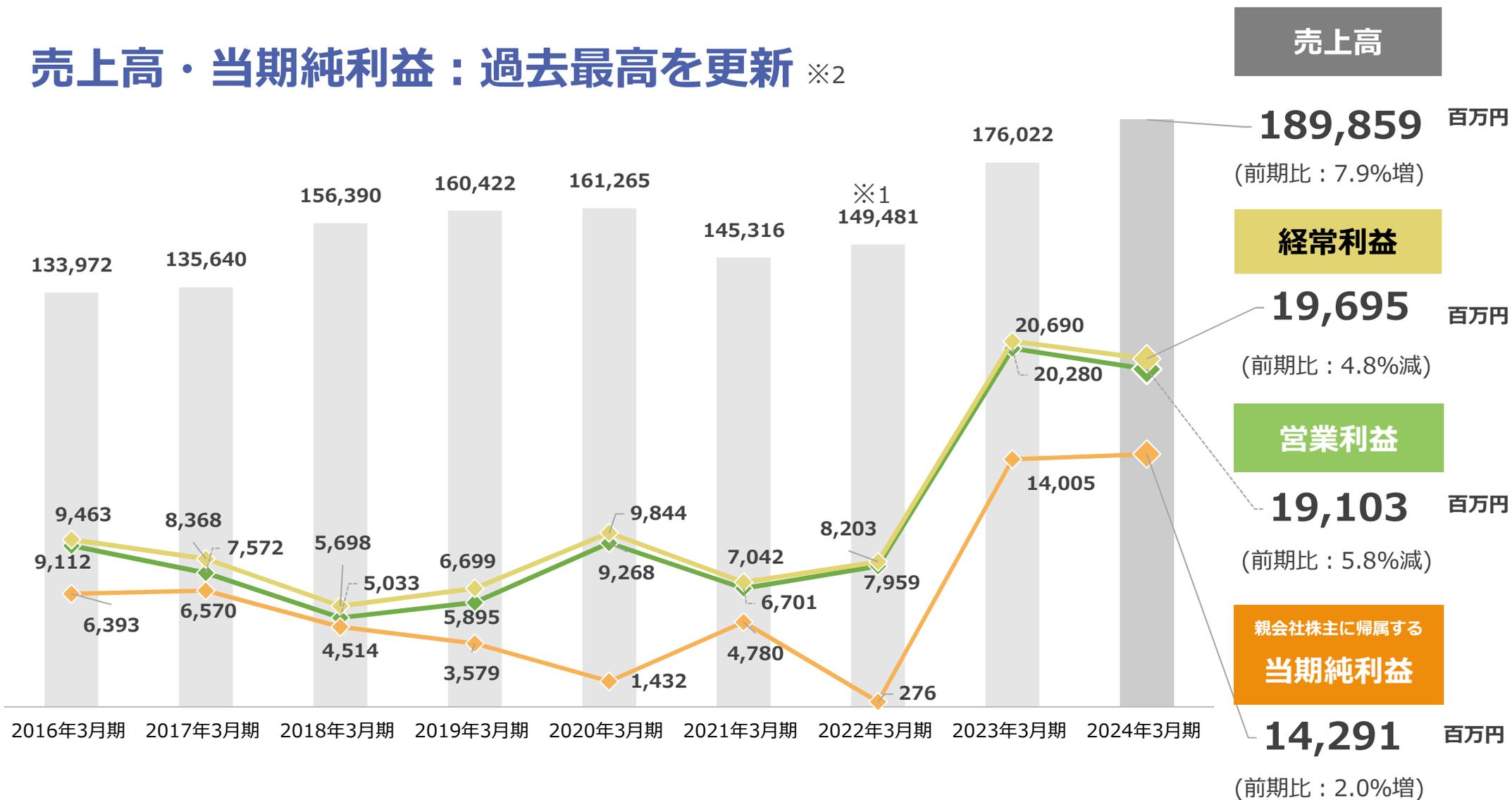
- ・ 米国政府からのコロナ期間の雇用維持に対する補助金（Employee Retention Credit）収入。
- ・ 賃上げ促進税制による優遇措置。
- ・ 減損損失は前期比で減少。

# 2024年3月期 連結決算の概要

	2023年3月期	2024年3月期			(億円、%)
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B-A,B/A)	2月9日公表 通期予想 (C)	達成率 (B/C)
売上高	1,760.2	<b>1,898.5</b>	+138.3 (+7.9%)	1,910.0	99.4%
売上総利益	563.7	<b>589.5</b>	+25.8 (+4.6%)	602.0	97.9%
(利益率)	(32.0%)	<b>(31.1%)</b>		(31.5%)	
販売費及び 一般管理費	360.9	<b>398.5</b>	+37.6 (+10.4%)	402.0	99.1%
営業利益	202.8	<b>191.0</b>	▲11.7 (▲5.8%)	200.0	95.5%
(利益率)	(11.5%)	<b>(10.1%)</b>		(10.5%)	
経常利益	206.9	<b>196.9</b>	▲9.9 (▲4.8%)	205.0	96.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	140.0	<b>142.9</b>	+2.8 (+2.0%)	146.0	97.9%

# 連結売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の推移

## 売上高・当期純利益：過去最高を更新 ※2



※1 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

※2 売上高 2023/03期 (176,022百万円)  
親会社株主に帰属する当期純利益 2023/03期 (14,005百万円) 以来

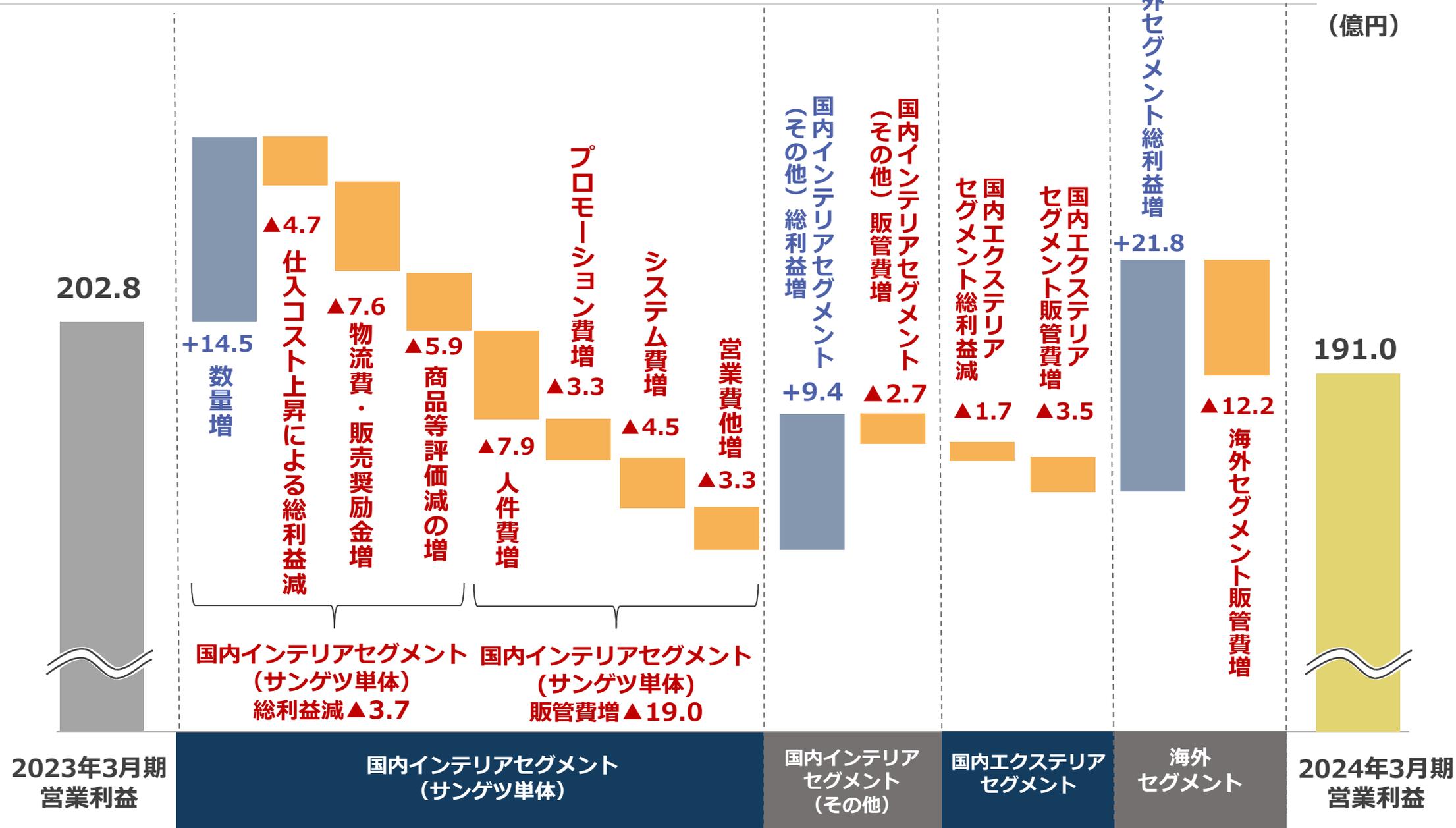
# セグメント別売上高・営業利益

	2023年3月期	2024年3月期 (億円、%)	
	実績※ (A)	実績 (B)	前期比 (B-A,B/A)
<b>国内インテリアセグメント 売上高</b>	1,479.6	<b>1,591.5</b>	+111.9(+7.6%)
壁装ユニット	725.9	<b>772.3</b>	+46.3(+6.4%)
床材ユニット	515.5	<b>563.5</b>	+47.9(+9.3%)
ファブリックユニット	94.4	<b>95.0</b>	+0.6(+0.7%)
施工・その他	143.6	<b>160.5</b>	+16.9(+11.8%)
<b>営業利益</b>	211.0	<b>194.8</b>	▲16.1(▲7.6%)
<b>国内エクステリアセグメント 売上高</b>	62.9	<b>64.6</b>	+1.6(+2.7%)
<b>営業利益</b>	4.5	<b>▲0.7</b>	▲5.2(-)
<b>海外セグメント 売上高</b>	217.8	<b>242.9</b>	+25.0(+11.5%)
<b>営業利益</b>	▲12.7	<b>▲3.1</b>	+9.6(-)
セグメント間取引調整(売上高)	▲0.1	<b>▲0.5</b>	▲0.3(-)
セグメント間取引調整(営業利益)	0.0	<b>0.0</b>	+0.0(+129.1%)
<b>連結売上高</b>	1,760.2	<b>1,898.5</b>	+138.3(+7.9%)
<b>連結営業利益</b>	202.8	<b>191.0</b>	▲11.7(▲5.8%)

※2024年3月期の期首より、報告セグメントを4区分から3区分に変更したため、2023年3月期の実績は変更後のセグメント区分に組み替えた数値となります。

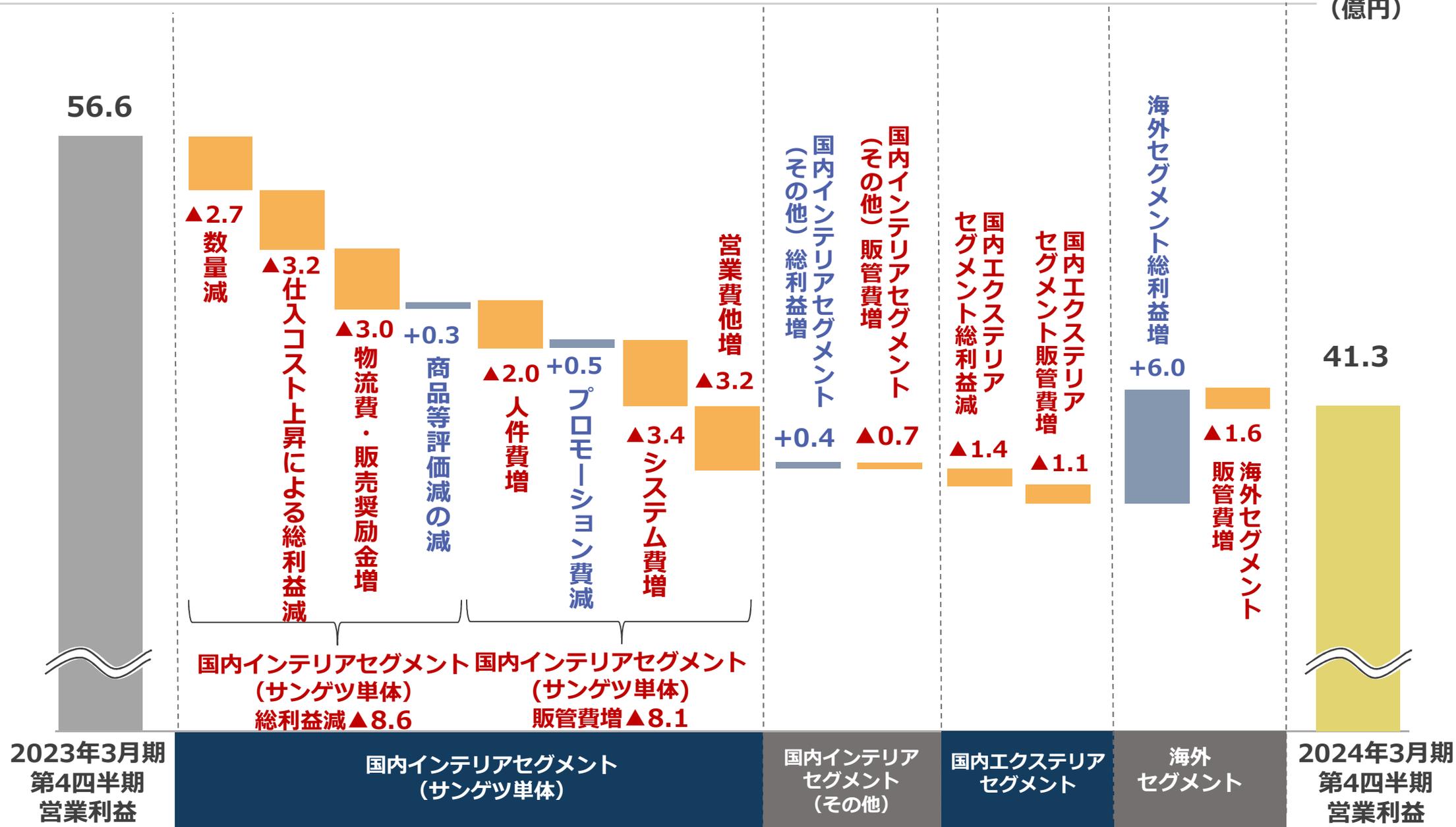
# 連結営業利益の増減（前期比 通期:4-3月）

(億円)

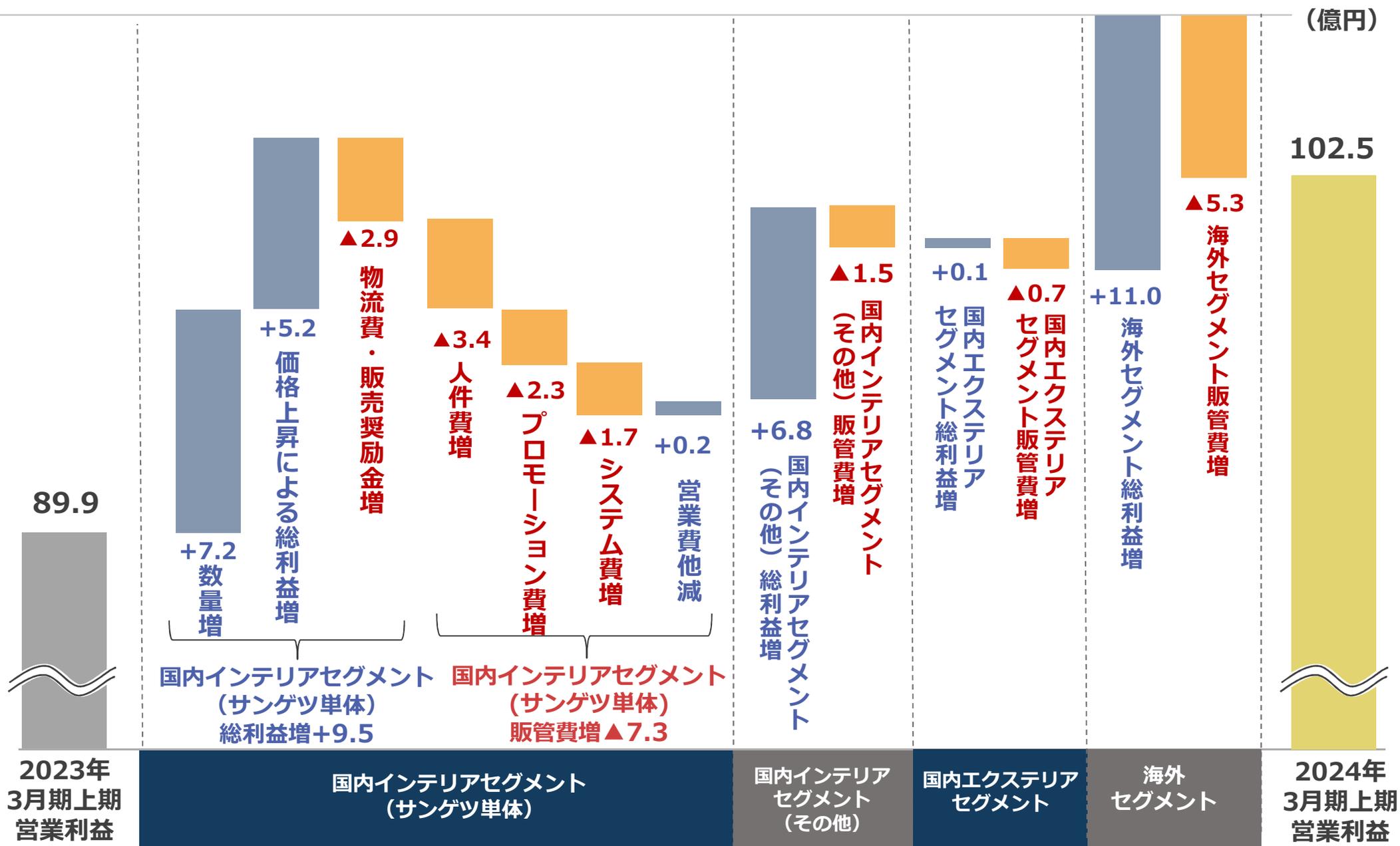


# 連結営業利益の増減（前期比 第4四半期:1-3月）

（億円）

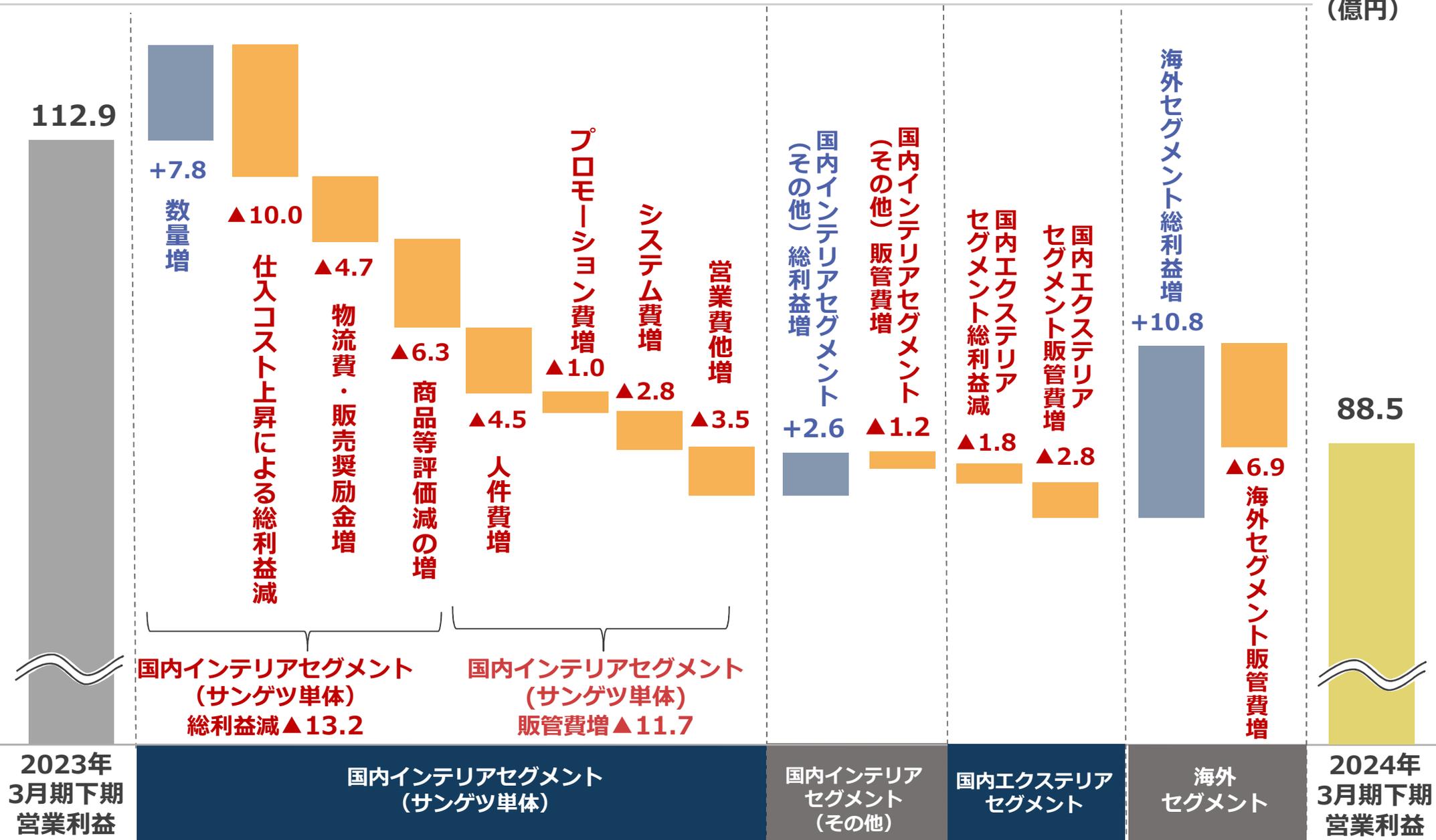


# 連結営業利益の増減（前期比 上期累計:4-9月）



# 連結営業利益の増減（前期比 下期累計:10-3月）

(億円)



# 2025年3月期 連結業績予想

2024年5月10日公表

	2024年 3月期	2025年3月期					(億円、%)
	実績(A)	通期予想(B)	前期比 (B-A,B/A)	上期予想	前期比	下期予想	前期比
売上高	1,898.5	<b>1,960.0</b>	+61.4 (+3.2%)	935.0	+28.8 (+3.2%)	1,025.0	+32.5 (+3.3%)
売上総利益	589.5	<b>605.0</b>	+15.4 (+2.6%)	290.5	+1.2 (+0.4%)	314.5	+14.1 (+4.7%)
(利益率)	(31.1%)	<b>(30.9%)</b>		(31.1%)		(30.7%)	
販売費及び 一般管理費	398.5	<b>445.0</b>	+46.4 (+11.7%)	214.5	+27.8 (+14.9%)	230.5	+18.5 (+8.8%)
営業利益	191.0	<b>160.0</b>	▲31.0 (▲16.2%)	76.0	▲26.5 (▲25.9%)	84.0	▲4.4 (▲5.0%)
(利益率)	(10.1%)	<b>(8.2%)</b>		(8.1%)		(8.2%)	
経常利益	196.9	<b>165.0</b>	▲31.9 (▲16.2%)	78.0	▲26.5 (▲25.4%)	87.0	▲5.3 (▲5.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	142.9	<b>110.0</b>	▲32.9 (▲23.0%)	52.0	▲19.2 (▲27.0%)	58.0	▲13.6 (▲19.1%)

# 2025年3月期 連結業績予想の前提

---

## 【外部環境】

- ・住宅市場は、新築／リフォーム共に弱含みで推移
- ・非住宅市場は、2022年度着工の状況から新築は弱含み、リニューアルは堅調な推移を予想

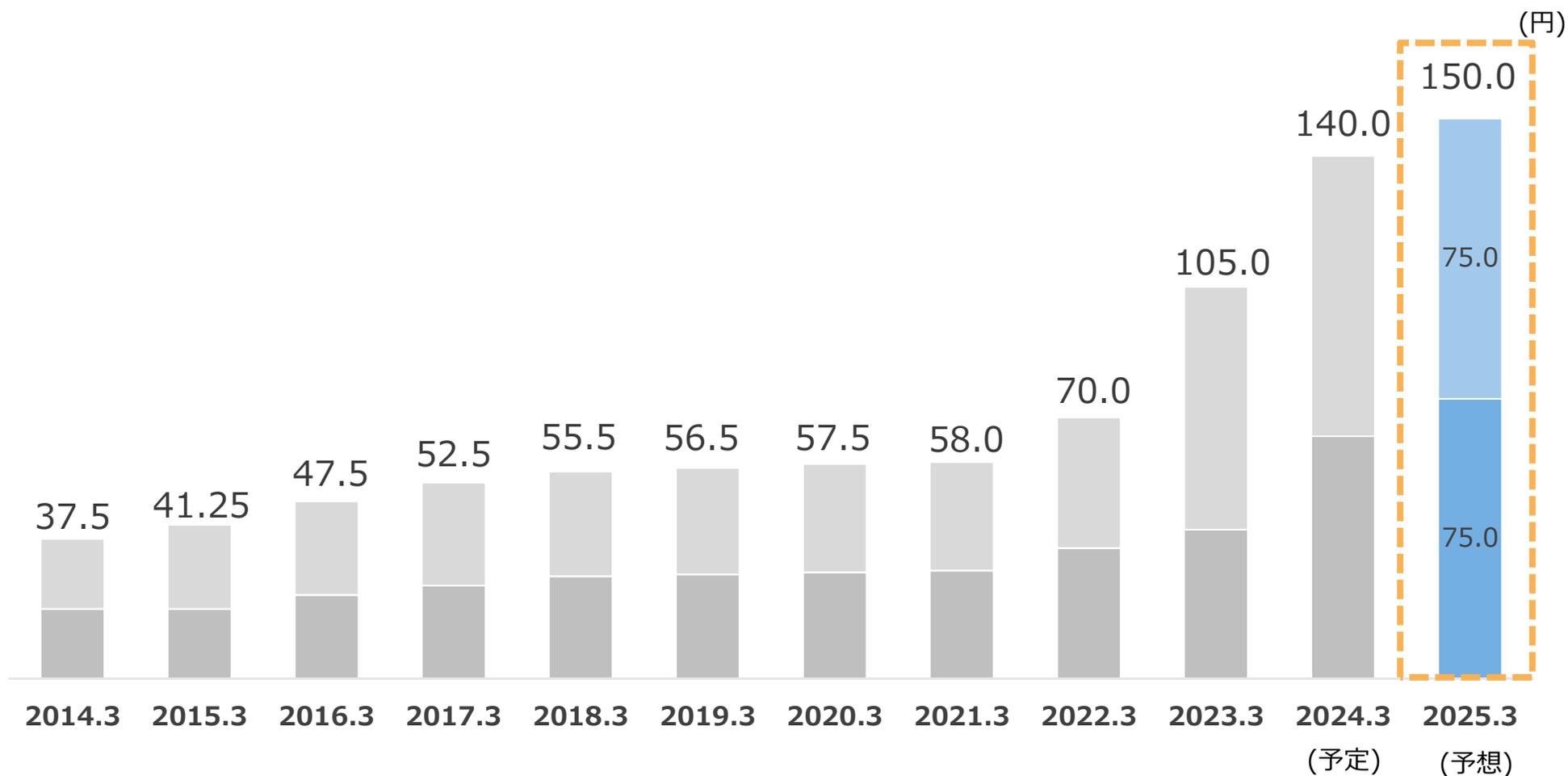
## 【プラス要因】

- ・市場が低調な中で中型商品※を中心にシェアアップ  
※リアテック（粘着剤付化粧フィルム）、ガラスフィルム、カーペットタイル、フロアタイル、椅子生地
- ・北米事業の改善は継続
- ・シンガポールの『D'Perception Pte.Ltd.』株式取得による売上高の増を見込む  
(利益に関しては現在精査中のため含まず)

## 【マイナス要因】

- ・仕入価格は、原材料費に加えて人件費、物流費を中心に上昇
- ・人的資本への投資として、キャリア採用の継続、ベースアップ、職場環境整備
- ・2024年問題からの物流費・委託作業費の上昇、省人化対策への投資
- ・中国市場における不透明感の継続

# 株主還元実績・予想 1株当たり配当金推移



**2025年3月期(予想)の中間配当は75.0円/株、期末配当は75.0円/株  
(前期比 10.0円増配) 11期連続増配予定**

# 中期経営計画 【BX 2025】 経済価値の進捗状況

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	2026年3月期 (目標)
連結売上高	1,760.2億円	1,898.5億円	1,960.0億円	1,950.0億円
連結営業利益	202.8億円	191.0億円	160.0億円	205.0億円
連結当期純利益	140.0億円	142.9億円	110.0億円	145.0億円
ROE	15.3%	14.1%	-	14.0%
ROIC	16.5%	14.8%	-	14.0%
CCC	77.1日	71.5日	-	65.0日

# Joy of Design

## 将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。